

共用品推進機構だより 2015年08月07日 (17)

目次

(72) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(73) 賛助会員ニュース

▽「ユニバーサルイベント検定試験対策セミナー開講
／日本イベント産業振興協会、UD ジャパン」

(74) 製品関連記事

▽「大きな文字で見やすく／スガタ」

▽「電話の声、聞きやすく／NTT ドコモ」

▽「磁力で靴ひもを開閉／スマートライフ研究所」

(75) 行政関連記事

▽「バリアフリー 一元的に掲載 都、秋にも専用サイト」

(76) 新刊紹介

▽『発達が気になる子どものためのポータージプログラム入門
0歳から家庭でできる発達支援』

▽『産業医と発達障害の人のキャリア&ライフ BOOK
人材紹介のプロと精神科医が答える』

▽『障害者総合支援法事業者ハンドブック 2015年版指定基準編
人員・設備・運営基準とその解釈』

(72) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・2015 夏休み サイエンススクエア
共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(73) 賛助会員ニュース

▼「ユニバーサルイベント検定試験対策セミナー開講 ／日本イベント産業振興協会、UD ジャパン」

日本イベント産業振興協会は、7月25日に東京グリーンパレスでユニバーサルイベント検定試験対策セミナーを行なった。

8月に第1回目の資格試験が開催されるのに先立ち、UD ジャパンの内山早苗代表取締役が講師を務め、幅広い業界・業種から約30人が受講した。公式テキストに沿って講義が行なわれ、豊富な実例紹介などにより、受講者はユニバーサルデザインや障害を持つ方への理解を深めた。

(見本市展示会通信 8月1日13面より抜粋)

(74) 製品関連記事

▼「大きな文字で見やすく／スガタ」

大きなキーと文字で見やすい電卓「ユニバーサルデザイン ハンディ電卓／デスクタイプ電卓」。打ちやすい大きなキーと見やすい大きな文字表示を採用した電卓で、ハンディタイプは8けた、デスクタイプは10けた表示。通常、電卓に付いているメモリーキーを無くし、四則算とパーセント計算など必要最低限の機能に絞った。

(日経MJ 8月3日12面より抜粋)

▼「電話の声、聞きやすく／NTT ドコモ」

NTT ドコモはシニア向けスマートフォン（スマホ）「らくらくスマートフォン 3」に新色を追加し、7月31日から全国の販売店で販売を始めた。同27日には高音質の音声通話サービスに対応するためのソフトウェア更新も実施した。

NTT ドコモの「らくらくスマホ」は中高年層などスマホ初心者の利用を意識したシリーズで、見やすいメニュー画面、洗練されたデザインが特徴だ。最新機種「3」は2014年7月に発売しており1年がたつが、根強い人気がある。

色は、今回新たに「エアブルー」を追加した。高音質の通話サービス「VoLTE（ボルテ）」も利用できるようになった。対応端末同士で通話すると相手の声が聞き取りやすく、電話がつながるまでの時間も短くなる。

（日経MJ 8月7日9面より抜粋）

▼「磁力で靴ひもを開閉／スマートライフ研究所」

スニーカーの着脱があっという間にできる靴ひもアタッチメントが登場した。

スニーカーの靴ひもに取り付けて使用する「クツピタ！」は磁力によって靴ひも部分を開閉する。履くときはマグネットを留め、脱ぐときは片方の足でかかとを固定して爪先立ちのような格好をするだけ。激しい運動をしてもはずれる心配はないという。スニーカーはひもがほどけやすい、結ぶのが面倒、といった不満を解消する一品だ。サイズは縦41×横22×厚み7ミリ。色は6種類。

（日経MJ 8月7日16面より抜粋）

（75）行政関連記事

▼「バリアフリー 一元的に掲載 都、秋にも専用サイト」

東京都内で高齢者や障害者が外出しやすい環境を整えるため、官民でバリアフリーに関連する情報提供や設備の更新を進める動きが相次いでいる。都は駅など外出先ごとに「段差のないルート」といった、移動をサポートする情報を一元的に掲載するサイトを今秋にも立ち上げる。鉄道各社は視覚障害者の事故を防止するため点状ブロックの改良に力を入れ始めた。

都のサイトは区市町村や民間企業、大規模な商業施設などと連携。すでに

ある高齢者や障害者向けの外出情報を紹介したホームページを一元的に掲載する。都内の区市町村別に検索できるようにするほか、「トイレ」「災害時」などジャンル別に情報を集約し、使いやすくする。

サイトでは年齢や障害の有無に関係なく誰もが使いやすい「ユニバーサルデザイン」についても関連情報を発信する。個人向けにとどまらず、中小企業が参加できるユニバーサルデザインの研修など、事業者向けの情報も紹介する予定だ。

(日経MJ 8月7日9面より抜粋)

(76) 新刊紹介

▼『発達に気になる子どものためのポータージプログラム入門 0歳から家庭でできる発達支援』

発達に遅れや偏りのある乳幼児の親（保護者）が中心になって、子どもの発達を支援する早期対応プログラムの入門書。事例をまじえて、0歳からできるよい行動を増やす“家庭中心アプローチ”をわかりやすく解説します。

監修：日本ポータージ協会

編著：清水直治（しみず・なおじ）

発行：合同出版

本体価格：1600円（税別）

ISBN：978-4-7726-1242-5

▼『産業医と発達障害の人のキャリア&ライフ BOOK 人材紹介のプロと精神科医が答える』

発達障害の人の安定したキャリア形成の一助となるよう、うつ症状などの二次障害の問題と、発達障害の診断に関する基本的な質問に、Q&A形式で専門医がわかりやすく回答。復職に向けたリワークや福祉制度についても解説する。

著：石井京子（いしい・きょうこ） 池嶋貫二（いけしま・かんじ）

発行：弘文堂

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-335-65168-7

▼『障害者総合支援法事業者ハンドブック 2015年版指定基準編
人員・設備・運営基準とその解釈』

障害福祉サービス事業者のための人員・設備・運営基準のガイド。指定基準
省令とその解釈通知を、左右対照形式で見やすく編集。関係告示、関係通知、
関係法令も掲載。平成27年6月10日現在の内容に対応。

発行：中央法規出版

本体価格：3400円（税別）

ISBN：978-4-8058-5224-8

（編集後記）

共用品推進機構の夏の恒例行事となっている「夏休みサイエンススクエア」
（国立科学博物館：東京都台東区）に、今年も参加させていただきました。
8月4日～6日の3日間、印刷博物館さんと凸版印刷さん（同東京都文京区）に
ご提供いただいた白いパッケージを使って、目の見えない人達に触ってわか
る工夫を考えてもらいました。所要時間の30分を超えても熱心に作品作りに
いそしむ子供達の姿が、とてもほほえましく、また頼もしく思えました。
イベントの様子はブログで公開中です。<http://www.kyoyohin-news.org/>
（森川美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>